

オピニオンづくりのまとめ

細江 隆一
(岐阜県・中学校)

1 チーム名「三本の矢で生きる意欲を高める！」

2 身につけさせたい力と、その定義

- ① 考える力
 - ・現状を打破する力、現状を改善する力
 - ・問題解決能力
 - ・自己達成のための手段を駆使する力
- ② 他者と関わる力
 - ・自分の思いを伝え、相手の思いをくみとる力（言葉の力、相互過分、順序など）
 - ・気の合わない人とも上手につきあう力
 - ・他者を慮る力
- ③ 基礎学力
 - ・基本的知識、論理的思考力、言葉の力（英語力も含む）
 - ・読み書きそろばん
 - ・情報に関する力（情報収集能力、情報選択能力、情報活用能力、情報処理能力）

3 小中高でどう教えるかの具体的方法

① について

★小学校

- ・自己達成感（自身の生育環境からの拡大）
- ・「当たり前」のことから「理想」を持つ・知る場の設定
- ・自己達成感（失敗を許容する、挑戦する）の育成

★中学校

- ・PDCAをテストで確認（到達度テスト、自己確認テストなど）
- ・活躍の場の設定（生徒会活動を始めとした学校内外の活動、行事、部活動、職業体験など）

★高校

- ・自主・自立の運営の場の設定（トラブルを自分たちで解決、PDCAで回す、学習方法の確立）
- ・自己決定能力、問題解決能力の育成を最終ゴール

②について

★小学校

- ・ 自他の違いの認識の育成
- ・ 他者への尊重・敬意がもてる授業や行事
- ・ 人といっしょに活動する場の設定（ペア、班、小集団で子どもの心と心をつないでいく活動）

★中学校

- ・ 学級活動の時間の活用（孤立させない、居場所を確保する）
- ・ 他者から学び取ろうとする謙虚さの育成

★高校

- ・ ツールを正しく使用して他者と関わる方法の教授
- ・ 他者と協働する力の育成を最終ゴール

③について

★小学校

- ・ 早寝早起き朝ご飯の定着

★中学校

- ・ 自分で教科の勉強を切り捨てず取り組む力の育成
- ・ 学ぶ意欲の喚起
- ・ 学ぶ意味・意義の価値付け

★高校

- ・ 学びを拡大し、深める意欲の喚起（専門教科への足がかり）
- ・ 社会生活を営むのに必要な力の育成を最終ゴール

4 実行するための条件

①について

- ・ 教師の意識改革
- ・ テストの質の向上
- ・ 家庭と学校の連携
- ・ 行政の巻き込み
- ・ 教師の粘り強く、温かい支援
- ・ 誉める、認めることによるモチベーションの喚起
- ・ 学び合い、発表させるなどの授業形態の工夫
- ・ 発達段階を考慮した支援の工夫

②について

- ・教師の意識改革
- ・カリキュラムの変革（協働する時間の確保）
- ・家庭と学校の連携

③について

- ・家庭と学校の連携
- ・認め、励ます体制づくり
- ・確かな目標をもたせる指導

5 初めの一步

- ・小・中・高がつながること。12年間の流れを見据えたカリキュラムの作成

6 全体の感想

★気付き

様々なチームの発表を聞いて思ったのは、どのチームも考え方は同じだということ。基本的な考えはどこも同じであり、表現の仕方が違うだけであるというのが私の気が付いた点である。

★感想

面白かった点は2点ある。一つは、数名の先生方とああだ、こうだと自分の意見を言い合う中で、練り合い、深められた意見が表出してくること。自分だけの思い込みだったと反省する意見があれば、自分だけではなくて他の人も賛同してくれるのだと気づくような意見があった。話し合いがあったからこそその成果だと思う。

もう一つは、なんとなく思っていた教育に対する考え方が系統的、体系的になったこと。我がチームは3点のつけたい力を考え、スタートとゴールを設定して考えたが、こうすることで自分の考えが整理され、系統的、体系的になった。いままでの考え方が整理され、すっきりした。

また、こうしたオピニオンづくりに参加したい。